

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
島田市	五和地区	令和4年2月28日	
	旧五和村(高熊、福用、神尾、横岡、竹下、牛尾、島、番生寺、志戸呂、大代)		

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	704.9 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	479.2 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	112.7 ha
i うち後継者有りの農業者の耕作面積の合計	14.1 ha
ii うち後継者なしの農業者の耕作面積の合計	57.4 ha
iii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	17.8 ha
iv うち後継者について不明(未回答者)の農業者の耕作面積の合計	23.4 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.6 ha
(備考) 農業者へのアンケート調査により、基盤整備による農地の集積・集約化、担い手の確保育成及び支援、6次産業化、経営の複合化や組織化による経営の強化、茶工場の再編、労働力の確保、農産物価格の安定、農地の他用途利用、鳥獣被害対策、荒廃農地対策などの意向が確認された。	

2 対象地区の課題

当地区は市の中西部にあり、金谷地区と接しており、中山間地域の茶畑とほ場整備された平坦な水田がある地区である。専業農家が30%を占め、茶業が主体の農業が行われているが、茶園は比較的狭小な傾斜地が多いため、農地荒廃の進行が懸念されている。

アンケート調査によると、将来の農業経営について、規模拡大4%、現状維持22%、規模縮小19%、貸付希望38%、不耕作13%となっており、中心経営体は55件いるが、比較的高齢化が進んでいる。引受け希望面積は3.6haで、75歳以上の農業者で後継者無及び不明の方の農地面積75.2haを大幅に下回っている。基盤整備や新たな担い手の確保などが課題となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

○北五和地域（高熊、福用、神尾）
 五和地区の北部にあり、傾斜地の茶園が多く、茶専業農家が多い。当地域の認定農業者4人を中心に農地の集積・集約化を図っていく。その他、中山間地域の特性を活かした有機栽培など、地区外からの法人等の希望者があれば担ってもらおう。

○横岡・牛尾周辺地域（横岡、竹下、牛尾、島）
 ほ場整備が完了している水田地帯では、主に自家用水稻栽培が中心で、露地や施設野菜なども若手農家により行われているが、一部で都市計画法に基づく用途指定による宅地化が進んでいる。茶園は、横岡地域を中心として傾斜地の農地が広がっており、茶農協組合員や自園自製農家などが栽培を行っているが、他地区への出作も多い。地区内の認定農業者を中心に、農地の集積・集約化を図っていく。

○志戸呂・大代周辺地域（番生寺、志戸呂、大代）
 平坦な水田地帯は、ほぼ自家用水稻栽培であり、牧之原台地の北端に位置する茶園では、法人や茶農協組合員、自園自製農家と法人への葉売り農家が栽培を行っている。傾斜地では荒廃化が進んでいるが、平坦地では担い手が規模拡大に取り組んでいる。地区内の認定農業者や法人などを中心に、農地の集積・集約化を図っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者〔氏名・名称〕	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
		茶	3.9 ha	茶	3.9 ha	五和・金谷・初倉
		茶、水稲	3.9 ha	茶、水稲	3.9 ha	五和
		茶	3.6 ha	茶	3.6 ha	五和・金谷・初倉
		茶	5.9 ha	茶	6.4 ha	五和・金谷・島田
		茶	3.2 ha	茶	3.2 ha	五和・金谷
		茶、水稲	2.9 ha	茶、水稲	2.9 ha	五和
		茶	2.4 ha	茶	3.4 ha	五和・金谷・初倉
		茶、水稲	3.3 ha	茶、水稲	3.3 ha	五和
		茶	1.7 ha	茶	1.7 ha	五和・金谷
		茶	0.7 ha	茶	0.7 ha	五和・金谷
		茶、観葉植物	1.6 ha	茶、観葉植物	1.6 ha	五和
		茶、大豆、水稲	2.3 ha	茶、大豆、水稲	2.3 ha	五和
		茶、水稲	3.5 ha	茶、水稲	3.9 ha	五和・金谷
		茶、水稲	3.3 ha	茶、水稲	3.3 ha	五和
		茶、水稲	3.4 ha	茶、水稲	3.4 ha	五和・金谷
		茶	0.9 ha	茶	0.9 ha	五和
		茶	2.7 ha	茶	2.7 ha	五和
		茶	3.4 ha	茶	3.4 ha	五和
		茶、野菜	1.8 ha	茶、野菜	1.8 ha	五和
		茶、ゲニユカリ、水稲	2.1 ha	茶、ゲニユカリ、水稲	2.5 ha	五和
		茶、果樹、水稲	3.4 ha	茶、果樹、水稲	3.4 ha	五和
		茶	2.1 ha	茶	2.1 ha	五和・初倉
		茶、水稲	3.1 ha	茶、水稲	3.1 ha	五和
		茶、水稲	2.4 ha	茶、水稲	2.4 ha	五和・金谷
		茶、水稲、野菜	4.2 ha	茶、水稲、野菜	4.2 ha	五和
		茶、水稲	2.7 ha	茶、水稲	2.7 ha	五和・金谷
		椎茸	0.4 ha	椎茸	0.4 ha	五和
		茶	1.4 ha	茶	1.4 ha	五和・金谷
		茶、水稲、みかん	2.2 ha	茶、水稲、みかん	2.2 ha	五和
		茶、水稲	2.1 ha	茶、水稲	2.1 ha	五和・金谷
		茶	3.0 ha	茶	3.0 ha	五和
		茶、レタス、水稲	10.7 ha	茶、レタス、水稲	10.7 ha	五和・金谷・初倉・島田・六会・川根
		茶、柑橘、水稲	3.7 ha	茶、柑橘、水稲	3.7 ha	五和・金谷
		茶	0.8 ha	茶	0.8 ha	五和・島田
		茶	3.3 ha	茶	3.3 ha	五和
		茶、果樹	2.0 ha	茶、果樹	2.0 ha	五和
		茶	3.7 ha	茶	3.7 ha	五和・初倉
		茶、水稲	2.6 ha	茶、水稲	2.6 ha	五和・金谷
		茶	4.9 ha	茶	4.9 ha	五和・金谷
		茶、ユーカーリ	5.5 ha	茶、ユーカーリ	6.0 ha	五和・金谷
		茶	1.4 ha	茶	1.4 ha	五和・金谷
		茶	5.6 ha	茶	5.6 ha	五和
		茶、枝物	2.7 ha	茶、枝物	2.7 ha	五和
		茶	1.2 ha	茶	1.2 ha	五和・金谷・初倉
		茶	3.9 ha	茶	3.9 ha	五和・金谷
		茶、水稲	4.0 ha	茶、水稲	4.0 ha	五和・金谷
		茶	2.7 ha	茶	2.7 ha	五和
		茶	6.1 ha	茶	6.1 ha	五和・金谷
		茶、果樹	2.0 ha	茶、果樹	2.0 ha	五和
		茶	1.5 ha	茶	1.5 ha	五和
		茶、野菜、水稲	2.8 ha	茶、野菜、水稲	2.8 ha	五和・金谷
		茶、水稲、野菜	1.3 ha	茶、水稲、野菜	1.3 ha	五和・金谷
		茶	4.3 ha	茶	4.3 ha	五和・金谷・初倉
		茶	4.1 ha	茶	4.1 ha	五和
		茶	3.4 ha	茶	3.4 ha	五和・金谷
	(地区外)					
		茶	0.0 ha	茶	0.5 ha	金谷
		施設野菜(葉ネギ)	0.4 ha	施設野菜(葉ネギ)	0.7 ha	金谷・五和
計	63人		168.1 ha		171.7 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>○農地の貸付け等の意向 貸付けの意向を示した農業者は138人で、農地面積は110.7haとなっている(筆毎の貸付意向は未確認)。</p>
<p>○農地中間管理機構の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none">・基盤整備については、農地中間管理機構を活用した事業を実施していく。・農地の貸借については、農地バンクを活用し、担い手への集積・集約化を目指していく。
<p>○基盤整備への取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・茶園基盤整備については、平成29年度に西原地区(5ha)をモデル的に実施して、若手の担い手に農地の集積・集約化を図っている。今後も、継続的に基盤整備を拡大できるよう、地域の話し合いを進めていく。
<p>○新規・特産化作物の導入方針</p> <ul style="list-style-type: none">・農地のゾーニングを図りながら、有機栽培や発酵茶、茶以外の他作物の導入を図っていく。・観光農業や農業体験事業を展開する。
<p>○担い手の確保育成方針</p> <ul style="list-style-type: none">・認定農業者及び新規就農者を確保していくため、経営や栽培技術の情報提供や指導などの支援を行っている。・若手農家の情報交換会や、集落の話し合いなどを開催していく。・地域農業の将来を踏まえ、茶農協の合併再編を検討していく。